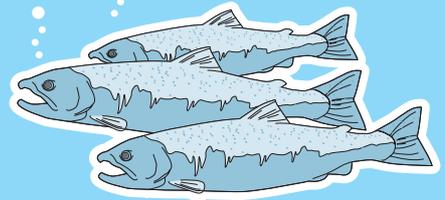


ビワマス通信 vol.8



生物多様性の保全を進めるモデル事業

天野川に琵琶湖固有種のビワマスが遡上できる環境をつくってまちづくりを進めようと、市では県や関係機関とともに「天野川ビワマス遡上プロジェクト会議」を設置しています。

天野川ビワマス遡上プロジェクト会議
事務局
経済環境部 環境保全課(伊吹庁舎)
☎58-2230
☎58-1630

3月17日(日)

第2弾! 箕浦地先に「簡易魚道」を設置します!

昨年9月に岩脇地先で実施した簡易

魚道設置企画の第2弾として、さらに2kmほど上流でビワマスの遡上を阻んでいる箕浦地先の堰堤に簡易魚道を設置します。

設置作業は、どなたでもご参加いただけます。アユやビワマスが遡上できる環境をつくるとともに、子どもたちが地域の環境に関心を持ってもらう機会として、ぜひご協力ください。

●日時

3月17日(日) 13時~16時

●場所

集合 市役所米原庁舎駐車場
作業 天野川箕浦地先
(天野川河口から約4km地点)

*集合場所から作業場所までは、バスで移動します。参加希望の方は事前

どなたでも参加できます

魚道のイメージ



今回設置する簡易魚道は、岩脇地先に設置したものを再利用し、両脇に入口を新設します。ちなみに、その後岩脇地先の堰堤では、県による本格的な魚道の設置工事が進められていて、3月末までには完了する予定です。これによって今年の遡上時期(10月~11月)には箕浦地先までビワマスなどが遡上することが予想されます。このように、簡易魚道の設置と本設工事を繰り返し、丹生川の合流点をめざします。

3月24日(日)

ビワマス稚魚 放流イベントを開催します!

市民のみなさんに冷蔵庫で大切に育てていたビワマスたちが、いよいよ旅立ちの時を迎えています。次のとおり一斉放流を実施します。で、ぜひご家族でお越しください。

今回の一斉放流は、滋賀県漁業協同組合連合会と共同で行うもので、みなさんに育てていただいたビワマスのほかに、県漁連が採卵ふ化させた天然ビワマス(約1万匹)も一緒に放流します。

自分たちが育て、放流したビワマスたちが、大きく成長して再び帰ってくる。何だかロマンを感じませんか。ふ化実験に参加できなかった方も、ぜひお越しください。

●日時

3月24日(日) 9時~

●場所

放流 丹生川・総谷川合流付近
集合 上丹生いぼとり地蔵前
送迎 市役所米原庁舎

*送迎の場合は、8時30分までに米原庁舎駐車場に集合してください。集合場所の駐車場に限りがありますので、できるだけ送迎車をご利用ください。申し込みは不要です。

*醒井水の宿駅(☎54-1822)で、電動アシスト付自転車を借りることもできます。

1台1000円(返却時500円返金)

●持ち物 長靴をご持参ください。

●その他 小雨の場合は決行します。ただし、河川が増水し稚魚を放流できない場合は中止します。当日の朝7時以降に環境保全課までお問い合わせください。



▲昨年の放流イベントの様子



米原市商工会による「ビワマスまつり」の試食会も行います。お楽しみに!

どなたでも参加できます